

(別紙様式3)

2021年3月31日

事業完了報告書

文部科学省初等中等教育局長 殿

住所 京都市上京区今出川通烏丸東入玄武町 601 番地  
管理機関名 同志社  
代表者名 八田英二 印

令和2年度WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業に係る事業完了報告書を、下記により提出します。

記

1 事業の実施期間

2020年4月1日(契約締結日)～2021年3月31日

2 事業拠点校名

学校名 同志社国際高等学校  
学校長名 戸田 光宣

3 構想名 国際共同研究を通じたグローバルな人材育成コンソーシアム

4 構想の概要

「まち」は社会生活の基盤である。その「まち」には、今さまざまな問題が複雑に関連し合いながら存在している。次代の「まち」を担う高校生達にとって、これは誰もが直面する問題である。

「まち」の抱える問題は、それぞれの地域ごとによって様相が異なる。また世界的には「まち」の問題には先進的な取り組みをしている都市がある。これらのさまざまな世界の取組を学び、「持続可能な都市の構築(SDGs #11 住み続けられる街)」を題材に、PBL型の探究学習を通してグローバルな人材育成をするプログラムを構築し、システム化することをこの事業で目指す。

今回の事業では、管理機関が設置する大学の先進的な研究と、海外・産業界を含む多様なネットワークを活用し、高校生へより高度な学びを提供する仕組みを構築するとともに、本校の帰国生徒受入校としてのネットワークを活用し、国内にとどまらず世界の連携校との共同研究による深い学びを実現する。

5 教育課程の特例の活用の有無 無

6 管理機関の取組・支援実績

(1) 実施日程

業務項目	実施期間(2020年4月1日～2021年3月31日)											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	—————→											

(2) 実績の説明

さまざまな業務についてメールを通じて事業拠点校と着実にやり取りを行った。

## 7 研究開発の実績

### (1) 実施日程

業務項目	実施期間（2020年4月1日～2021年3月31日）											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年生必修科目 Sustainable Society Study		オン ライ ン授 業	オン ライ ン授 業	オン ライ ン授 業		オン ライ ン授 業	オン ライ ン授 業	オン ライ ン授 業	オン ライ ン授 業	オン ライ ン授 業	オン ライ ン授 業	オン ライ ン授 業
2年生選択科目 Sustainable Society Research		オン ライ ン授 業	対面 授業	対面 授業		対面 授業	対面 授業	対面 授業	対面 授業	対面 授業	対面 授業	対面 授業
3年生選択科目 Sustainable Society Design		オン ライ ン授 業	対面 授業	対面 授業		対面 授業	対面 授業	対面 授業	対面 授業	対面 授業、 卒業 論文 執筆	卒業 論文 執筆	
グローバル教育 研究委員会			実施	実施		実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施

### (2) 実績の説明

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5月は全校一斉オンライン授業となり、他校との交流も制限され、また新しい生活様式への対応に迫られたことで、計画通りに進めることは困難を極めた。結果として、校内での授業を守るという学校で最も基本的な内容を実施するにとどまった。ただ、1年生では6月の対面授業再開以降、WWL科目のみをオンライン授業としたことで、対面授業とオンライン授業のハイブリッドの可能性を探究することができ、来年度以降の取り組みの大きな財産となった。2年生、3年生では選択科目であることから、意欲的な生徒が多く、2年生では地元京田辺市の課題解決に取り組んだり、3年生では卒業論文集を作成し、また、デンマークと京都のまちづくりに関するリサーチブックを完成させるなど、生徒達は意欲的に学習に取り組んだ。委員会は定例で実施し、委員も3人増員し、次年度以降の連携校との共同研究、国際会議の実施、コロナ禍で可能なフィールドワークに向けて具体的、詳細な計画を策定した。

## 8 目標の進捗状況、成果、評価

概ね順調に推移しているが、プログラムの性質上、コロナの影響は大きい。普段の授業をきちんと構築、実施し、ズームでの国際会議などにいくつか参加しイメージをつくったり、オンラインだからこそできることの可能性を探ることもできたので、その点では成果があった。

## 9 次年度以降の課題及び改善点

今年度ほとんどできなかった、連携高との共同研究を開始する。すでにやりとりを始めている企業、国際機関との共同プログラムを実施する。

### 【担当者】

担当課	同志社国際高等学校	TEL	0774-65-8911
氏名	西田 喜久夫	FAX	0774-65-8990
職名	教頭	E-mail	jimu@intl.doshisha.ac.jp